

登録番号	プロトコール名			
C92126A1	AML ベネトクラクス+アザシチジン療法(静注)(C1)			
診療科	血液内科	1クールの日数	28日	
審査日	2021年5月31日	所要時間	30分	適応外使用 <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり
適応病名	急性骨髄性白血病	放射線療法	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
実施部署	<input checked="" type="checkbox"/> 外来 <input checked="" type="checkbox"/> 病棟 <input type="checkbox"/> その他()			
適応分類	<input checked="" type="checkbox"/> 初発 <input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input type="checkbox"/> 術後補助 <input type="checkbox"/> 術前補助 <input type="checkbox"/> その他()			
番号	抗がん薬名	1日投与量	投与方法	投与日(d1、d8等)
1	ベネトクラクス(ベネクレクタ®)	100mg	PO	d1
2	ベネトクラクス(ベネクレクタ®)	200mg	PO	d2
3	ベネトクラクス(ベネクレクタ®)	400mg	PO	d3-28
4	アザシチジン(ビダーザ®)	75mg/m ²	DIV	d1-7
5				
6				
7				
8				
エビデンスレベル	<input checked="" type="checkbox"/> 治療 (エビデンスレベル <input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6)			
ガイドライン文献名	N Engl J Med.2020;383:617-29			
その他(減量・増量規定、プロトコールに関する補足説明など)	<p>患者の状態により適宜減量する。</p> <p>ベネトクラクス投与開始前から、高尿酸血症治療剤の投与を行うこと。</p> <p><CYP3A阻害剤との併用時のベネトクラクスの用量調節基準></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中程度のCYP3A阻害剤との併用時 用量漸増期、維持投与期ともにベネトクラクスを半量以下に減量すること。 ・強いCYP3A阻害剤との併用時 用量漸増期は、ベネトクラクスを1日目は10mg、2日目は20mg、3日目以降は50mgに減量すること。 維持投与期は、ベネトクラクスを50mgに減量すること。 			

プロトコールに関する解説	
<p>プロトコールに関する解説はありません。</p>	

がん化学療法処方

プロトコール名		1クールの日数	
AML ベネクテラス+アザシチジン療法(静注)(C1)		28日	
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)	投与経路	投与時間
day1	① ベネクテラス 100mg 1日1回 食後	内服	-
day2	① ベネクテラス 200mg 1日1回 食後	内服	-
day3-28	① ベネクテラス 400mg 1日1回 食後	内服	-
day1-7	① グラニセトロン点滴静注バッグ1mg/50mL ② ビダーザ 75mg/m ² +生食50mL 注射用水10mL/Vで溶解 調製開始後1時間以内に投与完了 ③ 生食50mL(フラッシュ用)	点滴 点滴	15分 10分
点滴			5分
プロトコール 適応時 表示コメント	ベネクテラスをd1に100mg、d2に200mg、d3-28に400mg内服(CYP3A阻害剤との併用時、用量調節あり)。		
照射併用時 照射線量	グレイ(備考欄:)		